

教頭通信デジタル

令和5年3月7日（火）第32号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

第2回三石中学生大学を行いました

3月3日（金）6校時、第2回三石中学生大学を行い、岡山理科大学経営学部の16名の大学生と交流しました。三石中学生大学では3つのゼミナールを開講しており、大学生と中学生が課題解決に向けて協働学習を行っています。今回は前回の学習内容を発展させたグループワークや実習に取り組みました。50分間という限られた時間でしたが、大学生の皆さんは生徒たちの興味や関心を高めるために（生徒たちの好奇心に火をつけるために）、様々な工夫をしていました。きっと、事前にシミュレーションを十分に行い、試行錯誤しながら準備や用意をしてくれたのだと思います。チャレンジングな試みはもちろんのこと、生徒たちへのていねいな接し方や優しい言葉かけなども、現場の教員にとって、非常に参考（勉強）になりました。大学生の皆さん、ありがとう。

◆◆「社会・お金の仕組みを学ぶ」ゼミ◆◆



投資とアルバイトの違い、アルバイトの仕組み、現役大学生のアルバイト事情等について詳しく教えてもらいました。その後、「大学生には授業以外の時間がたくさんあります。この余った時間で何をしたいですか。アルバイト、勉強、遊ぶなど、大学生になったつもりで考えてみましょう。」をテーマにグループワークを行いました。

◆◆「モテルを研究する」ゼミ◆◆



身だしなみ実践編として、リネンウォーターを使うシャツのアイロンがけを実際に行いました。【ラベンダー×ミント】【ローズ×ミント】等の組み合わせでリネンウォーターをつくり、襟→袖口→袖→肩→見ごろの順番でアイロンがけを行いました。リネンウォーターを使うことで、周囲は良い香りに包まれ、身だしなみの大切さについて学習することができました。

◆◆「フードロスの解決を目指す」ゼミ◆◆



『パンの耳』と『余ったご飯』を使って、売れる商品の開発に挑みました。『パンの耳』でチョコラスク、『余ったご飯』で梅みそおにぎりをつくりました。短時間の調理実習でしたが、大学生と中学生が協力して活動し、美味しいラスクとおにぎりが完成しました。次回は、販売するために必要なパッケージデザインについて学びます。

現在、大学は春休み中で、授業等はありません。そんな折、ご協力いただいた16名の大学生の皆さん、2名の先生方、誠にありがとうございました。次回も楽しみにしています。